

あいち農産物生産流通レポート

平成25年5月号

情報サロン		
・デンドロビウム・フォーミダブル新品種「フォーミ愛知1号」 「フォーミ愛知2号」を開発	(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・農業支援センター「援農ネットみよし」活動開始！ (豊田加茂農林水産事務所)		2
東日本情報		
・京浜市場における平成24年産の愛知県産農産物の動向 (東京事務所)		3
西日本情報		
・あいち中小企業応援ファンドについて (食育推進課)		5
フラワーページ		
・EU諸国における花の生産・流通について (農業総合試験場)		9
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		10
・名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し		11
花き		
・切花・鉢花の5月の見通し(県内市場)		23
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年2月)		27
関連指数		28

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

デンドロビウム・フォーミディブル新品種 「フォーミ愛知1号」「フォーミ愛知2号」を開発

農業総合試験場

1 はじめに

デンドロビウム・フォーミディブル(*D. Formidible*)は夏咲きのデンドロビウムで、原種の *D.formosum* と *D.infundibulum* の交配により、日本で作出された洋ランです。カトレアのような白い大きな花は、中央部(唇弁)の黄色が白地に映え、涼しげな印象を与えます。観賞期間は約2か月とこの時期の鉢物としては長く、母の日からお中元などの贈り物としての需要があります。主な産地は愛知県と高知県で、生産量が少ないことから、あまり知られていない洋ランです。愛知県農業総合試験場は、愛知県花き温室園芸組合連合会洋らん部会との共同研究によりオリジナル品種の開発に取り組み、早生品種の「フォーミ愛知1号」(昨年6月品種登録出願公表)、中晩生品種の「フォーミ愛知2号」(今年3月品種登録出願)と2つの新品種を開発したので紹介します。

2 フォーミ愛知1号

1997年に *D.formosum* と *D.infundibulum* の交配を行い、03年に選抜、その後、生産現場への普及を想定した大量増殖、特性検定を行い、11年に育成を完了しました。冬期の最低夜温を8℃で栽培すると4月中旬に開花し始め、従来種より約2週間早く咲く早生性があるので、省エネ栽培が可能です。また、1月中旬から18℃に加温すれば3月下旬に咲き始め、年度替わりの需要にも対応できます。形の良い大きな花が咲き、さわやかな香りがあることも特徴の一つです。



フォーミ愛知1号

3 フォーミ愛知2号

03年にフォーミディブルの品種である「キンタロウ」と「ウグス」を交配し、07年に選抜、その後大量増殖と特性検定を行い、12年に育成を完了しました。既存品種と比較して大きな花が安定して着花し、花付きも良いので、大変豪華な印象を与えます。冬期の最低夜温を8℃で栽培すると5月中旬に咲き始める中晩生品種です。3月上旬から15℃以上に加温すれば4月下旬に開花して需要が多い母の日にも出荷できます。また、苗の生育が旺盛で栽培しやすく、商品化率が高い点も、生産者から評価されています。



フォーミ愛知2号

4 流通について

昨年の春から「フォーミ愛知1号」は「愛彩(あいさい)」、「フォーミ愛知2号」は「愛燦々(あいさんさん)」の名称で出荷が始まっています。

農業支援センター「援農ネットみよし」活動開始！

持続可能な農業の実現や市民参加による農業振興を図るために、みよし市とJAあいち豊田が連携して運営する農業支援の拠点として「援農ネットみよし」が平成25年4月に立ち上がった。

業務内容は、大きく就農支援と営農支援に分けられる。

就農支援では2つの研修コースが用意されている。

（就農者育成コース）

定年退職者や新規就農希望者、又は農地を持っているが農業に携わった経験のあまりない人などで、今後農業に関わりたい方を対象

（農業ふれあいコース）

農業に触れてみたい、体験してみたい市民などを対象

どちらも研修期間は原則1年間で、希望によりさらに1年間に限り延長することができる。

営農支援では、農地バンク、農業機械バンク、人材バンクといったことが考えられており、4月からは農地情報の提供（農地バンク）と営農相談がすでに開始されている。

また、関連事業として研修修了者に農地をあっせんするとともに、地産地消の推進が図られるよう新規就農者等が生産した農作物を販売できる場所として「ふれあい市場」の設置も検討されている。

この4月6日（土）に、「農業ふれあいコース」の開講式が緑と花のセンター「さんさんの郷」において開催され、久野知英みよし市長から「みよし市でようやく援農支援体制が整いました。実践で技術を習得し、農業の楽しさを周囲にも広めて行ってください」と励ましの言葉をかけられていた。

20名の新受講生一人ひとりには開校式を終えるとさっそく土作りや梅作りの実技講習に取り組み、この1年の研修に期待と夢をふくらませていた。

なお、「就農者育成コース」は初年度については、6月に研修生を募集し、8月から開講予定となっている。

この「援農ネットみよし」が、同市の農業において課題となっている耕作放棄地の解消や、農業従事者の高齢化等による後継者不足の抑制について、これからの活動が期待されている。

京浜市場における平成24年産の愛知県産農産物の動向

東京における愛知県産農産物の状況

平成24年産（平成24年1月から平成24年12月）の東京都中央卸売市場（9市場）（以下、「京浜市場」という。）での愛知県産農産物の取扱高は、野菜203.5億円（シェア5.8%）、果実24.7億円（1.6%）、花き122.5億円（14.2%）、合計350.7億円（5.9%）と、47都道府県の中で茨城県、千葉県に次いで第3位の取扱高となっています。上位5位までは 茨城県：518億円、千葉県：507億円、北海道：306億円、長野県：290億円となっています。

1 野菜

京浜市場での野菜の取扱高は、3,526.2億円で23年産を133億円上回りました。一方で、22年産を26億円下回っており、23年産が福島第1原発事故の影響を大きく受けたことにより、そこからの入荷が立ち直ったものと考えられます。なお、過去5年間の平均単価は平成20年産@218円、平成21年産@216円、平成22年産@243円、平成23年産@222円、平成24年産@224円となっています。

本県産の取扱高については、主力商品のキャベツをはじめトマト、ミニトマト、ブロッコリーのいずれもが冬場の冷えこみ等の影響で、品薄、高値となったことから、前年と比較してキャベツは36ポイント（16億円）、トマトは25ポイント（7億円）、ミニトマトは32ポイント（6億円）等といずれも大幅に上回り、野菜全体で22ポイント（37億円）上回る203.5億円となり、過去5年で最高の取扱高となりました。全体に占めるシェアも4.5～4.9%にとどまっていたものが、5.8%に高まりました。

2 果実

京浜市場での取扱高は、約1,586億円で前年を2ポイント（約33億円）上回りました。

本県産については、豊作で数量が大幅に増えた柿が前年を大きく上回り、その他の品目はほぼ前年並みでした。果実全体では、前年を4ポイント（1億円）上回る24.7億円となりました。

3 花き

京浜市場での取扱高は864億円で前年を4ポイント（約33億円）上回りました。

本県産については、全体では前年を4ポイント（4.8億円）上回り122.5億円になりました。長引く景気低迷の中、前年を上回ったものの過去5年で2番目に低い取扱高であり、まだまだ低い水準となっています。

表1 主な品目の取扱金額（野菜）

単位：千円

品目	平成24年	平成23年	24/23	全国順位	上位産地
キャベツ類	6,012,155	4,438,080	135.5%	1位	千葉、神奈川
トマト	3,583,208	2,879,028	124.5%	3位	熊本、栃木
おおば	2,090,322	2,126,970	98.3%	1位	茨城、高知
ミニトマト	2,547,566	1,936,786	131.5%	1位	熊本、千葉
ブロッコリー	1,657,298	1,356,466	122.2%	1位	埼玉、北海道
ほじそ	440,577	418,742	105.2%	1位	沖縄、東京
さやえんどう	397,188	392,430	101.2%	1位	鹿児島、中国
ふき	336,061	344,647	97.5%	1位	群馬、静岡

表2 主な品目の取扱金額（果実）

単位：千円

品目	平成24年	平成23年	24/23	全国順位	上位産地
いちご	775,785	792,578	97.9%	7位	栃木、福岡、佐賀
いちじく	544,812	534,781	101.9%	1位	和歌山、福岡
みかん類	560,073	570,828	98.1%	7位	愛媛、静岡、長崎
柿	427,451	305,242	140.0%	5位	和歌山、奈良、岐阜
メロン	56,937	57,264	99.4%	11位	茨城、静岡、熊本

表3 主な品目の取扱金額（花き）

単位：千円

	品目	平成24年	平成23年	24/23	全国順位	上位産地
切花	輪ぎく	4,385,748	4,280,420	102.5%	1位	沖縄、静岡
	スプレー菊	1,381,253	1,314,048	105.1%	1位	栃木、鹿児島
	ばら類	891,490	857,608	104.0%	2位	静岡、山形
	カーネーション類	340,959	357,516	95.4%	3位	長野、千葉
	アルストロメリア	449,542	408,013	110.2%	2位	長野、山形
	切花 計	7,448,992	7,217,605	103.2%		
鉢	観葉植物	1,410,245	1,378,745	102.3%	1位	静岡、鹿児島
	鉢花	799,203	794,247	100.6%	2位	埼玉、千葉
	洋らん鉢物	642,778	600,484	107.0%	3位	埼玉、栃木
	鉢物 計	2,852,226	2,773,475	102.8%		
	苗物	190,174	172,191	110.4%	6位	埼玉、千葉、神奈川

あいち中小企業応援ファンドについて

愛知県では、100億円の「あいち中小企業応援ファンド」を造成し、その運用益で「地域資源（注）」を活用した中小企業の新たな事業展開を支援しています（運営主体：公益財団法人あいち産業振興機構）。

また、平成24年度から、従来の「地域産業資源活用応援ファンド」に加え、特別枠として、「モノづくり応援ファンド」及び「農商工連携応援ファンド」を設け、助成対象を拡大しましたので、その内容についてご案内します。

（注） 地域資源とは

「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の推進に関する法律」第2条第2項に定める下記の から に該当するもの

地域の特産物として認識されている農林水産物又は鉱工業品

当該工業品の生産に係る技術

文化財、自然の風景地、温泉、その他の地域の観光資源として認識されているもの

1 助成対象事業及び対象ファンド名

助成枠	助成対象者	助成対象ファンド名
中小企業者枠	愛知県内に本社又は主たる事務所を有する中小企業者 ¹ （個人、会社及び団体 ² ）又はその中小企業者が複数で構成するグループ	・地域産業資源活用応援ファンド ・モノづくり応援ファンド ・農商工連携応援ファンド
支援機関枠	愛知県内に主たる事務所を有する商工会議所、商工会、商工会連合会、中小企業団体中央会、観光協会（法人格を有するものに限る）、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、民法第34条に規定する公益法人、特定非営利活動法人、その他営利を目的としない法人。 ただし、特定非営利活動法人については、愛知県内の地方公共団体からの中小企業育成又は振興に関する業務受託等の自治体と連携をして業務を行った実績を複数回有することが条件。	・地域産業資源活用応援ファンド

1：「中小企業者」とは、中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律（平成19年5月11日法律第39号。以下「中小企業地域資源活用促進法」という。）第2条第1項に規定する中小企業者を指す。

2：団体とは、中小企業地域資源活用促進法第2条第1項第6号から第8号に規定する団体で、企業組合、協業組合、事業協同組合、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、商工組合、商店街振興組合、酒造組合等。

2 各ファンドの助成対象分野、助成対象事業、助成限度額、助成率

(1) 「地域産業資源活用応援ファンド」

対象事業者	助成対象分野	助成対象事業	助成限度額・助成率
中小企業者枠	県内の地域産業資源 ^{注1} を活用した新事業展開 ^{注2} のために行う事業	・新製品(商品)開発 ^{*1} ・販路拡大 ・人材育成(新製品(商品)開発・販路拡大につながるもの)	個別の中小企業者 ・助成限度額：50万円以上 300万円以内 ・助成率：1/2 以内 団体又は中小企業者のグループ ・助成限度額：50万円以上 500万円以内 ・助成率：1/2 以内
支援機関枠	中小企業者等が実施する県内の地域産業資源 ^{注1} を活用した新事業展開 ^{注2} を支援するために、支援機関が実施する事業	・新製品(商品)開発 ^{*1*2} ・販路拡大 ^{*3} ・人材育成(新製品(商品)開発・販路拡大につながるもの) ^{*4}	・助成限度額：100万円以上 1,000万円以内 ・助成率：2/3 以内

注1 地域産業資源：愛知県が「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」で指定するもの。

注2 新事業展開：中小企業の経営革新につながる新たな事業活動（新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供、商品の新たな生産方式又は販売方式の導入、役務の新たな提供方式の導入）。

1: 農林水産物の新品種の開発は対象外であり、鉱工業品の新製品開発においても、その原材料となる農林水産物の品種改良等は対象外。

2: 支援機関が中心となって地域のモデル商品等を開発する事業や、新商品等を開発しようとする会員又は地域の中小企業者に対して、支援機関が専門家を派遣し開発を側面支援する事業等が該当。

3: 商工会議所、商工会等地域の支援機関において、会員が地域資源を活用して新たに商品化したものを、当該支援機関が展示会（但し、販売を伴う展示会は不可）を開催して販路拡大を図る事業等が該当。

4: 支援機関が会員又は地域の中小企業者を対象に研修会や研究会を開催し、新製品（商品）開発や販路拡大のためのスキルアップを図る事業等が該当。

(2) 「モノづくり応援ファンド」

対象事業者	助成対象分野	助成対象事業	助成限度額・助成率
中小企業者枠	次世代成長産業分野 ¹ 及び地場産業分野 ² での地域資源を活用した新事業展開のために行う事業	・新製品(商品)開発 ・販路拡大 ・人材育成(新製品(商品)開発・販路拡大につながるもの)	・助成限度額：50万円以上 500万円以内 ・助成率：1/2 以内

1: 次世代成長産業分野とは、愛知県が指定する重点分野（次世代自動車、航空宇宙、環境・新エネルギー、ロボット、健康長寿）。

2 地場産業分野とは、愛知県が指定する 11 業種の地場産業 [食料品(飲料・飼料を含む)、繊維、衣服身回品(衣服、その他の繊維製品)、木材・木製品、家具・装備品、紙・同製品(パルプ・紙・紙加工品)、プラスチック製品、皮革・同製品(なめし革・同製品・毛皮)、窯業・土石製品、鉄鋼業、その他の製造業]。

(3) 「農商工連携応援ファンド」

対象事業者	助成対象分野	助成対象事業	助成限度額・助成率
中小企業者枠	あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携して行う地域資源の農林水産物を活用した新事業展開のために行う事業	・新製品(商品)開発 ・販路拡大 ・人材育成(新製品(商品)開発・販路拡大につながるもの)	・助成限度額：50 万円以上 500 万円以内 ・助成率：1/2 以内

3 助成対象事業の助成期間(各ファンド共通)

助成対象事業の助成期間は、原則として交付決定日から 1 年以内。

ただし、事業の内容によっては、交付決定のあった年度から最長 3 年度を限度とする事業も対象とすることができる。この場合、事業採択は初年度に行うが、助成金の交付申請については毎年度行い、審査を受ける。

4 助成対象経費

応募事業の実施に直接必要な経費として明確に区分できるもので、助成金交付決定以降に、発注、購入、契約等を行い、助成事業実施期間中に支払いが完了し、かつ証拠書類によって金額等が確認できる以下の経費が対象。

区分	助成対象経費の区分	対象経費の内容
中小企業者枠 [対象] ・地域産業資源活用 応援ファンド ・モノづくり応援 ファンド ・農商工連携応援 ファンド	謝 金	講師謝金、専門家謝金
	旅 費	従事者旅費、講師旅費、専門家旅費、従事者海外旅費(海外展示会事業のみ)、専門家海外旅費(海外展示会事業のみ)
	事 業 費	会場借料、会場整備費、印刷製本費、資料購入費、通信運搬費、調査研究費、パンフレット作成費、広告宣伝費、通訳料(通訳料含む)、雑役務費、保険料、借損料、特許権等産業財産権取得費、コンサルタント料、委託費(試作・開発費に係る部分を除く)
	試作・開発費	原材料費、機械装置又は工具器具購入費、備品費、借損料、製造・改良・加工料、デザイン料、試作費、実験費、設計費、外注加工費、コンサルタント料、委託費

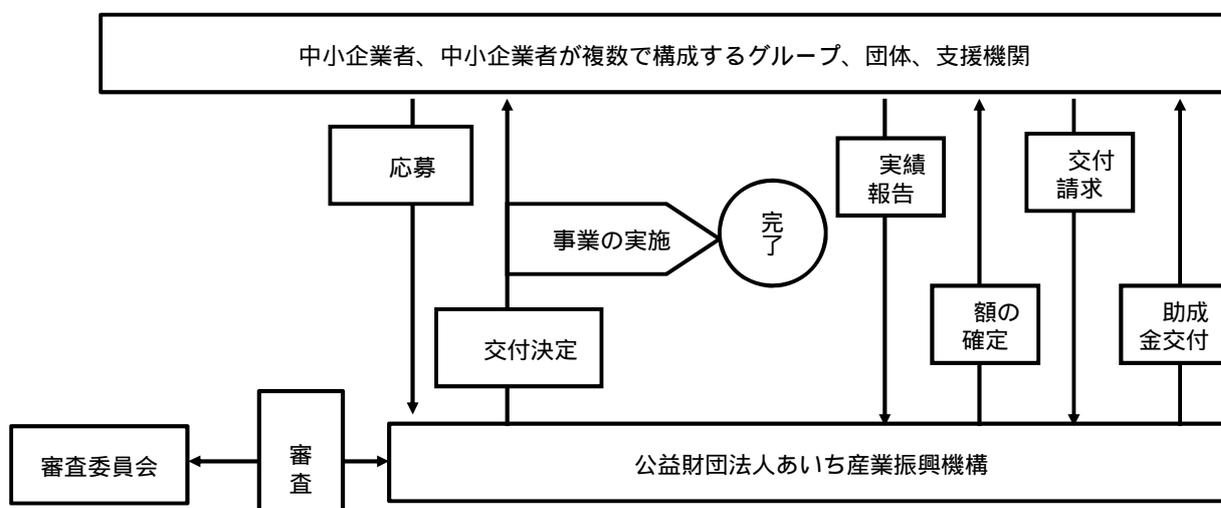
支援機関枠 [対象] ・地域産業資源活用 応援ファンド	謝金	委員謝金、講師謝金、専門家謝金
	旅費	職員旅費、委員旅費、講師旅費、専門家旅費、職員海外旅費(海外展示会事業のみ)、委員海外旅費(海外展示会事業のみ)、専門家海外旅費(海外展示会事業のみ)
	事業費	会場借料、会場整備費、印刷製本費、資料購入費、通信運搬費、調査研究費、パンフレット作成費、広告宣伝費、通訳料(翻訳料含む)、雑役務費、保険料、借損料、コンサルタント料、委託費(試作・開発費に係る部分を除く)
	試作・開発費	原材料費、機械装置又は工具器具購入費、備品費、借損料、製造・改良・加工料、デザイン料、試作費、実験費、設計費、外注加工費、コンサルタント料、委託費

5 事業募集時期(予定)

第1回目募集：毎年1月～2月頃。

平成25年度第2回目募集：7月中旬頃の予定。

6 助成事業の流れ



7 問い合わせ先

公益財団法人あいち産業振興機構 新事業支援部 地域資源活用・知的財産グループ

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目4番38号 ウィンクあいち 14階

電話：052-715-3074、FAX：052-563-1438、E-Mail：info-chiiki@aibsc.jp

ホームページ <http://www.aibsc.jp/>

E U諸国における花の生産・流通について

1 デンマークの花き鉢物生産事情について

生産コストの削減のため、花き鉢物生産のオートメーション化が進み、苗、挿し穂は海外で生産している。また、輸送効率を上げるために小鉢化が進み、PRは統一ブランドの設定やマーケティング会社に委託している。大規模化が進みスーパーとの直接取引が増加している。

表1 デンマークの花き鉢物生産の特徴

視察先	栽培品目	生産規模	経営の特徴
Thoruplund社	シャコバサボテン、カンパニユラ	施設3.9ha 年間600万鉢	シャコバサボテンの苗はをスリランカで生産。他農家と「Living Color」というブランドで販売・PR。
PKM社 (写真1)	カンパニユラ、シャコバサボテン、ラベンダー	施設19ha 露地5ha	カンパニユラの挿し穂はポーランドで生産。シャコバサボテンの挿し穂はケニアで生産。施設の自動化が進んでいる。

2 オランダの花き生産事情

オランダの花き生産においては補光、炭酸ガス施用、ミスト等の設備が揃い、機械化が進むものの単純作業は外国人の労働力を利用している。

表2 オランダの花き生産の特徴

視察先	栽培品目	生産規模	経営の特徴
Floralis社 (写真2)	トルコギキョウ	施設1.7ha 年間5回の周年生産	20 暖房、12,000lxで補光、1,000ppmで炭酸ガスの施用を行っている。他農家と「Four Seasons」のブランドで販売。
A.BAAS社 (写真3)	ビオラ等の花壇苗、鉢花	施設25ha 年間1億鉢	フォークリフト等を使って、直置きで栽培。施設の70%は薪を使った暖房。販売は、スーパー8割、市場2割。

3 日本の生産者への提言

オランダ、デンマークの花き生産の場合、他国への輸送コストが陸路で割安であること、また回転率重視の低コスト生産、気象条件の違いや天然ガス主体の暖房等を行っており、そのまま日本の花き生産が参考にするのは難しい。ただし、得意分野に経営資源を集中的に投下し、その他は外部に委託する経営戦略や種苗等知的財産によるパテント収入、また業界全体で行うPR等、参考になる点はいくつかある。また、補光、ミスト、炭酸ガス施用等の環境調節機器の普及と利用技術が進んでおり、普及途上にある日本の花き生産でも導入に向け、試験研究機関等からの情報収集が今後重要になると考えられる。



写真1 挿木を行う機械



写真2 生産状況写真



写真3 生産・出荷状況

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
2 4 年実績	5 7 1	5 5 9 (9 8 %)	5 1 2	5 0 7	静岡 (2 %)
2 5 年見通し	5 6 0	-	5 0 0	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>尾張を中心に水耕で周年栽培され、天候の良い春と秋に生育する。夏に高温が続くと、秋の入荷量が減少する。 冬場は重油高により、加湿制限をする生産者が増え、収量減の傾向。 価格はみつばの量よりも、ほうれん草等他の葉物の価格に強く影響される。</p>			<p>温暖化やエアコンの普及により、みつばが使われることも多い煮物や鍋物の需要が下降気味である。 若い世代は食べ方を知らないことも多く、家庭でお浸しや炒め物等でおいしく食べられることを宣伝するなど、工夫が求められる。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
2 4 年実績	1 8	1 3 (7 2 %)	6 5 0	7 5 3	ニュージーランド (2 2 %) オーストラリア (5 %) 米国 (1 %)
2 5 年見通し	1 8	-	6 0 0	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>例年 4 月より本県からの出荷が始まり、5 月に出荷のピークをむかえる。高齢化により生産者数は減少。生育は、天候にも恵まれ病気が少なくとても順調にきている。大玉傾向ではあるが品質良好。 入荷量は前年並を見込み、価格は、L 玉中心ということもあり、前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>ペコロスはシチューなどの料理に使われるなど、多くは洋食レストランなど業務用として利用され、安定した需要がある。このところ、景気もようやく回復基調となっており、外食産業での荷動きに期待するところである。 国内産では他の産地は数少ないことから、品質的にも評価の高い愛知産には安定的な出荷を期待している。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	40,658	191	183	200	191	愛知 32%
	21年	39,226	195	209	196	185	徳島 7%
	22年	36,281	213	235	198	209	鹿児島 7%
	23年	36,170	189	187	190	191	茨城 7%
	24年	37,549	208	211	210	203	
	5ヵ年平均	37,977	199	-	-	-	
	25年見通し	38,300	185	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知が中心。天候にも恵まれ、生育は順調。5月からは春夏物が多く出てくるため、価格は安くなる。 入荷量は前年よりわずかに増加し、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	20年	2,411	88	85	100	82	愛知 81%
	21年	2,388	85	84	84	88	千葉 8%
	22年	2,280	89	87	90	92	長崎 6%
	23年	2,286	58	51	54	78	鹿児島 2%
	24年	2,530	98	87	115	97	
	5ヵ年平均	2,379	84	79	89	88	
	25年見通し	2,400	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
4月の産地の主力は愛知で、長崎からも少し入荷する。ゴールデンウィーク前後にピークを迎える。長さが足りないものもあるが、太りは順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は大幅に下回る見込み。							
にんじん	20年	2,252	202	200	233	181	徳島 87%
	21年	2,950	112	142	120	88	岐阜 9%
	22年	2,663	117	116	108	128	熊本 3%
	23年	2,591	129	147	130	114	中国 1%
	24年	2,643	121	119	115	131	
	5ヵ年平均	2,620	134	143	138	126	
	25年見通し	2,600	125	130	125	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地の中心は徳島。次いで岐阜。徳島産はゴールデンウィーク明けにピークを迎え、岐阜は10日前後より入荷する。徳島、岐阜とも生育は順調で、値崩れしない見込み。 入荷量は前年並みの見込み。価格は前年をやや上回る見込み。							

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

東京都中央卸売市場

4月23日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	141,595	218	217	227	211	千葉 18%
	21年	137,120	222	233	218	216	茨城 14%
	22年	134,986	225	239	212	225	佐賀 7%
	23年	136,710	201	199	195	232	神奈川 6%
	24年	145,994	220	218	226	217	(愛知産比率 %)
	5ヵ年平均	139,281	217	221	216	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	145,000	200	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>入荷の中心は関東産地となり、土物類果菜類は西南暖地からの入荷が本格化する。天候は4月に入り、寒い日が続いたものの、日照等は十分に確保され、主要野菜の生育は順調で、潤沢な出荷が見込まれる。入荷量は多かった前年並が見込まれ、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
だいこん	20年	9,589	85	87	97	73	千葉 85%
	21年	8,952	89	87	89	91	茨城 7%
	22年	9,678	90	98	87	85	埼玉 2%
	23年	9,642	64	55	57	81	栃木 2%
	24年	10,728	97	85	114	96	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	9,718	85	82	89	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	11,000	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉からの入荷が中心となる。平年並に春だいこんが始まり5月に入っても順調な出荷となる。今後増える青森も定植作業は順調。入荷量は多かった前年並の見込み。価格は高値で推移した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
にんじん	20年	7,486	217	203	247	200	徳島 73%
	21年	8,427	131	151	135	108	千葉 16%
	22年	8,526	133	130	123	149	中国 3%
	23年	8,730	138	152	140	138	埼玉 2%
	24年	8,894	127	126	120	135	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	8,413	147	152	153	146	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	8,900	130	140	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島と千葉からの入荷が中心となる。徳島は昨年低温による生育遅れで始まったが今年は順調で安定した出荷が期待できる。千葉は5月のはじめより出荷が始まるが下旬より本格化。入荷量は前年並となり、価格についても前年並を見込む。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	2,456	76	71	84	73	茨城 63% 愛知 29% 長野 4%
	21年	2,141	93	115	82	81	
	22年	2,251	90	105	78	86	
	23年	1,766	55	52	48	69	
	24年	1,825	74	58	84	91	
	5ヵ年平均	2,088	79	82	76	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,800	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城を中心に、他に愛知、長野。3、4月の気温の上昇とともに生産も回復し、順調な作況。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
キャベツ	20年	4,013	74	82	82	60	愛知 71% 茨城 12% 神奈川 7% 兵庫 6%
	21年	3,951	132	170	124	112	
	22年	3,525	104	114	99	101	
	23年	4,061	55	62	49	57	
	24年	4,396	113	91	171	101	
	5ヵ年平均	3,989	96	103	106	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,200	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知。次いで茨城、神奈川、兵庫。気温が乱高下した影響も、5月になれば安定する見通し。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	20年	309	497	520	528	463	岐阜 67% 愛知 20% 茨城 5% 0 0%
	21年	282	511	554	485	510	
	22年	296	506	541	521	473	
	23年	244	448	355	444	533	
	24年	260	503	418	565	545	
	5ヵ年平均	278	494	483	510	502	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	270	500	600	500	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は岐阜。次いで愛知。岐阜は飛騨からの入荷が中心となる見込み。愛知産は5月上旬を目処に終了予定。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	6,096	54	49	63	52	茨城 95%
	21年	5,749	69	89	64	57	長野 4%
	22年	6,353	67	79	56	64	群馬 1%
	23年	5,860	32	28	27	47	熊本 0%
	24年	6,955	59	43	63	71	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	6,203	56	58	55	58	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,900	55	60	55	50	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となり、長野からの入荷も始まってくる。茨城の生育は大きな気象災害もなく、生育は概ね順調。西の市場に出荷している兵庫が4月で終了することから5月上旬は引き合いがある。入荷量は前年並で、価格も月を通しては前年並の見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折れ線グラフで示されています。数量は6月から12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にかけて減少傾向にあり、4月～5月にかけて再び増加傾向にあります。単価は6月から12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にかけて減少傾向にあり、4月～5月にかけて再び増加傾向にあります。</p>					
キャベツ	20年	16,800	72	75	84	59	神奈川 42%
	21年	16,743	115	142	108	97	千葉 36%
	22年	18,886	88	92	77	94	愛知 13%
	23年	17,775	52	57	43	60	茨城 6%
	24年	20,493	94	77	121	91	(愛知産比率13%)
	5ヵ年平均	18,139	84	88	87	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	20,000	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川を中心とした関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも若干の生育遅れ等あるものの平年作の見込み。春キャベツは引き合いが強いがGW明けは価格弱めの展開が予想される。入荷量は前年並が見込まれ、価格は堅調に推移した前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折れ線グラフで示されています。数量は6月から12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にかけて減少傾向にあり、4月～5月にかけて再び増加傾向にあります。単価は6月から12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にかけて減少傾向にあり、4月～5月にかけて再び増加傾向にあります。</p>					
ほうれんそう	20年	1,727	393	417	438	340	群馬 43%
	21年	1,536	427	472	391	430	茨城 19%
	22年	1,704	404	418	425	377	埼玉 13%
	23年	1,344	379	310	389	442	岩手 9%
	24年	1,338	472	416	626	416	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	1,530	414	407	454	401	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,400	430	480	430	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、埼玉の関東産地に加えて岩手からの入荷が始まる。前年は遅れが目立ったが、今年は各産地とも生育環境も良く順調な出荷が見込まれる。入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回るの見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフで、単価は折れ線グラフで示されています。数量は6月から12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にかけて減少傾向にあり、4月～5月にかけて再び増加傾向にあります。単価は6月から12月にかけて増加傾向にあり、1月～3月にかけて減少傾向にあり、4月～5月にかけて再び増加傾向にあります。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	876	416	414	422	412	愛知 34%
	21年	907	379	392	357	390	鳥取 16%
	22年	813	453	417	472	469	大分 12%
	23年	783	328	316	323	365	中国 8%
	24年	778	390	392	399	392	
	5ヵ年平均	831	394	387	395	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	800	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長ねぎの中心は愛知。ゴールデンウィーク明けには終了し、新ねぎへと生産は移行。生産者の高齢化、都市化で作付は減少している。</p> <p>白ねぎの生産は鳥取、大分。天候も良く、順調な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
しそ	20年	2,134	110	107	111	112	長野 54%
	21年	1,903	160	181	177	124	兵庫 32%
	22年	1,688	202	270	197	129	茨城 10%
	23年	1,713	122	133	108	136	愛知 3%
	24年	1,863	195	194	211	189	
	5ヵ年平均	1,860	156	174	160	137	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,900	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は長野、兵庫、茨城。各産地とも生育は順調。茨城は5月中旬には終了し、兵庫は5月中旬以降も出荷予定。5月後半からは長野中心の入荷となる見込み。</p> <p>入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
きゅうり	20年	2,407	186	181	237	157	愛知 39%
	21年	2,235	172	178	165	173	宮崎 14%
	22年	2,316	221	166	233	276	群馬 13%
	23年	1,939	224	181	220	276	埼玉 11%
	24年	2,044	222	227	261	198	
	5ヵ年平均	2,188	204	186	223	214	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,000	220	220	220	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知。他に関東は埼玉、群馬。西南暖地は高知、宮崎より入荷する。病気の発生もなく、気温も上昇しており、順調な生育が見込まれる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	4,373	380	382	438	334	茨城 35%
	21年	4,029	330	303	320	362	千葉 29%
	22年	3,629	374	345	374	398	埼玉 18%
	23年	3,803	314	308	298	347	中国 6%
	24年	3,972	331	394	279	324	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	3,961	346	364	362	353	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,100	300	320	280	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉などの関東産地からの入荷が中心。各産地ともここまで生育は順調で、5月は太物の発生率が高くなることが予想される。</p> <p>入荷量は、前年をわずかに上回る。価格は現況、春ねぎの販売不振で安値推移基調もあり前年をかなり下回る見込み。</p>					
ねぎ							
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
し	20年	8,339	104	97	110	107	長野 39%
	21年	7,857	139	159	149	115	茨城 32%
	22年	7,205	184	269	173	127	群馬 13%
	23年	7,067	117	121	107	126	兵庫 9%
	24年	7,804	180	171	202	171	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	7,654	144	163	148	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,800	155	160	155	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城などの関東産地に加えて長野からの入荷が始まる。長野は作付がやや減少している。生育は後続産地の長野、群馬は生育遅れもなくここまで順調にきており中旬より本格化する見込み。</p> <p>入荷量は潤沢であった前年並を見込み、価格は比較的高値で推移した前年をかなり下回る見込み。</p>					
し							
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
きゅう	20年	8,368	200	195	276	155	埼玉 33%
	21年	8,776	181	185	180	178	群馬 21%
	22年	8,118	201	191	204	208	茨城 12%
	23年	7,906	222	182	208	268	千葉 11%
	24年	7,804	180	171	202	180	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	8,397	206	185	214	198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	7,400	220	220	220	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。主力の埼玉は昨年のような天候不順による遅れもなく生育は順調にきている。</p> <p>全体の入荷量は、遅れて5月にずれ込んで入荷の多かった前年をやや下回り、価格は連休需要の売り込み次第ではあるが、安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅう							
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	1,389	279	275	281	280	愛知 45%
	21年	1,352	244	258	241	236	熊本 40%
	22年	1,343	290	342	282	252	宮崎 10%
	23年	1,320	262	275	249	267	高知 4%
	24年	1,272	259	258	246	279	
	5カ年平均	1,335	267	282	260	263	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,300	260	260	250	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知、熊本、宮崎。愛知は千両なす、熊本、宮崎は長なす主体。ゴールデンウィーク前後にピークを迎える。各産地とも生育は良好。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ト マ ト	20年	1,849	235	250	237	218	熊本 43%
	21年	1,678	294	329	315	249	愛知 27%
	22年	1,710	260	321	235	235	三重 15%
	23年	1,961	193	227	177	195	岐阜 10%
	24年	1,779	343	391	327	323	
	5カ年平均	1,795	263	301	256	243	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,850	260	300	240	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は熊本、愛知、三重、岐阜。各産地とも病害虫の被害はなく、出荷は順調。玉流れも非常に良いと思われる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	20年	443	454	463	436	459	熊本 55%
	21年	368	586	604	639	535	愛知 32%
	22年	390	556	649	519	494	和歌山 8%
	23年	496	435	450	428	401	
	24年	530	585	670	510	549	
	5カ年平均	445	521	565	500	486	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	500	500	500	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は、熊本、愛知、和歌山。作況は順調で、ゴールデンウィーク前後にピークを迎える予定。中・下旬まで量は多く出る見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
かなす	20年	4,581	335	337	358	319	高知 43%
	21年	4,784	281	315	271	266	福岡 20%
	22年	4,435	310	357	288	289	群馬 10%
	23年	4,262	314	330	305	328	佐賀 5%
	24年	4,345	308	308	296	311	(愛知産比率0%)
	5ヵ年平均	4,481	309	329	298	291	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,450	310	320	310	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を始めとする西南暖地中心の入荷となる。高知は5月出荷分の着果量は十分にあり、前年を上回る集荷が期待できる。他の産地も生育は順調にきている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は連休以降下げに転じ前年並の見込み。</p>					
トマト	20年	9,149	270	284	287	246	熊本 22%
	21年	9,022	328	373	354	277	栃木 21%
	22年	8,546	299	331	277	293	愛知 12%
	23年	10,045	235	252	232	264	千葉 9%
	24年	9,931	363	403	340	344	(愛知産比率12%)
	5ヵ年平均	9,219	298	306	272	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,700	280	280	260	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と熊本からの入荷が中心となり引き続き本県からの入荷もある。昨年は、低温、曇天の影響で小玉傾向で推移してきたが、今年は各産地とも着花状況も良く、潤沢な出荷が期待できる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は消費環境も良かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ミニトマト	20年	1,505	428	424	423	435	熊本 35%
	21年	1,327	545	556	603	494	愛知 24%
	22年	1,440	529	632	482	478	千葉 12%
	23年	1,864	376	397	383	408	宮崎 9%
	24年	1,982	548	642	491	511	(愛知産比率24%)
	5ヵ年平均	1,624	482	501	461	441	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,900	450	450	400	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉、宮崎等からの入荷となる。愛知は、天候に恵まれ、病害虫の発生もなく順調な出荷が期待できる。他産地についても同様で、若干、大玉傾向となっている。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	818	296	366	289	254	宮崎 35%
	21年	819	251	333	215	217	鹿児島 28%
	22年	764	347	540	293	265	茨城 24%
	23年	757	194	217	193	224	
	24年	824	296	393	296	261	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	796	277	370	258	244	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	800	300	350	300	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は、4月までは宮崎、鹿児島、高知など西南暖地。茨城など新しい産地からの出荷が増えており、5月ごろから入荷量が増加する見込み。気温の上昇により、着果に若干傷みが出ている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	4,374	120	112	121	129	鹿児島 42%
	21年	4,399	128	143	139	113	長崎 41%
	22年	3,339	175	191	158	183	北海道 14%
	23年	4,218	194	209	230	165	
	24年	4,030	110	162	111	90	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,072	144	162	152	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,200	110	130	110	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は、5月の中旬までは鹿児島。その後は長崎、北海道が中心となる。どの産地も生育は順調。産地間リレーでは、売れる産地と売れない産地の差が出てくる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
たまねぎ	20年	6,502	55	57	54	55	愛知 68%
	21年	5,828	73	68	76	76	北海道 11%
	22年	5,767	87	100	83	80	兵庫 10%
	23年	4,515	70	88	73	58	NZ 4%
	24年	4,393	88	90	83	92	
	5ヵ年平均	5,401	74	79	73	71	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,100	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地の中心は愛知、北海道、兵庫。北海道は例年より多くの在庫を抱えており、安い価格となる。販売は安値のため、動きは良い見込み。また、国産が安値のため、輸入品の入荷量は少ない見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	2,463	352	387	383	303	茨城 75%
	21年	2,681	291	338	301	247	高知 11%
	22年	2,368	384	519	346	317	宮崎 8%
	23年	2,492	219	227	200	238	鹿児島 5%
	24年	2,621	330	393	304	295	(愛知産比率-%)
	5カ年平均	2,525	314	368	295	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,600	300	320	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城は1、2月定植分について3月の気温高で生育は順調に推移し5月にまとまった量が期待できる。高知も順調な出荷が続く。入荷量は前年並を見込み。価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
白菜	20年	10,697	121	118	117	127	長崎 43%
	21年	9,902	142	137	140	150	鹿児島 35%
	22年	9,484	175	174	158	197	北海道 14%
	23年	9,534	207	191	222	208	熊本 4%
	24年	12,363	112	147	106	94	(愛知産比率0%)
	5カ年平均	10,396	148	150	152	157	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	12,100	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>九州産地を中心にあとは北海道からの入荷となる。九州各県は4月末からまとまった出荷となりGW中に最大のピークを迎える。北海道は計画通りの安定出荷となる。総体の入荷量は多かった前年並となり、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
タマネギ	20年	15,162	72	70	70	76	佐賀 66%
	21年	12,412	99	97	97	102	兵庫 7%
	22年	12,218	109	126	104	99	北海道 6%
	23年	14,244	78	95	86	59	NZ 4%
	24年	14,161	100	102	97	100	(愛知産比率1%)
	5カ年平均	13,639	91	89	82	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	16,300	70	60	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀からの入荷が中心となる。佐賀をはじめとする主要産地はいずれも生育順調で潤沢な出荷が期待できる。関東産についても生育順調。入荷量は前年をかなり上回り過去最大級の入荷となる。価格は前年を大幅に下回り安値基調が続く。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果	20年	11,202	320	317	310	331	熊本 30% フィリピン 27% アメリカ(合) 9% 青森 8%
	21年	10,647	312	323	305	310	
	22年	9,766	321	325	321	316	
	23年	9,703	318	330	314	315	
	24年	9,242	340	367	343	315	
	5ヵ年平均	10,112	322	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	10,200	280	-	-	-		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地は熊本、フィリピン、アメリカ、青森が中心。円安の影響で輸入品、特にバナナの入荷量が減少。国産品は昨年10月の気温が非常に高かった影響を受け、すべて小玉傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は大幅に下回る見込み。</p>						
その他メロン (アールスメロン以外)	20年	1,482	327	349	313	321	熊本 65% メキシコ 19% 鹿児島 5% 0 0%
	21年	1,197	325	404	345	273	
	22年	1,002	363	418	379	314	
	23年	1,267	311	429	322	296	
	24年	993	368	437	379	344	
	5ヵ年平均	1,188	336	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,000	350	400	330	330		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地の中心は熊本、メキシコ。ゴールデンウィーク前に色もの、愛知が出てくる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
すいか	20年	2,096	206	217	208	193	熊本 96% 愛知 4%
	21年	1,950	212	225	217	195	
	22年	1,770	209	218	208	202	
	23年	1,725	206	221	214	217	
	24年	1,631	233	280	244	226	
	5ヵ年平均	1,834	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,700	210	220	200	200		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地は熊本中心。作付けは減少しているが、気温が高く、作柄は良好。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果	20年	32,321	355	357	352	356	熊本 26%
	21年	33,700	329	353	331	308	フィリピン 16%
	22年	30,129	347	362	343	338	青森 11%
	23年	30,218	342	374	336	320	茨城 9%
	24年	29,035	369	401	362	347	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	31,081	348	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	32,500	340	-	-	-	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	すいか、メロンを中心におうとう、みかん等のハウスものが入荷する。ハウスみかんは燃油高騰の影響で早期作型が減少し出始めの量は少ない。おうとうは豪雪のとしであったが、順調で中旬にピークとなる。全体の入荷量は遅れて少なかった前年をかなり上回り、価格はかなり下回る見込み。						
アンデスメロン	20年	1,154	437	434	449	432	茨城 54%
	21年	1,202	377	478	482	304	熊本 45%
	22年	659	474	475	490	460	鹿児島 0%
	23年	1,141	392	438	392	366	(愛知産比率 -%)
	24年	755	446	558	492	375	
	5カ年平均	982	418	470	456	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	750	420	470	450	380	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	茨城、熊本から入荷する。春先の好天で着果・肥大ともに良好で品質も高い。やや前進気味の出荷となっており、熊本は5月上旬がピーク、茨城は初旬にはじまり下旬がピークとなる。入荷量は前年並みで価格は高かった前年からかなり下回り平年並みとなる。						
すいか	20年	6,571	227	239	231	216	熊本 79%
	21年	7,086	224	253	234	198	茨城 11%
	22年	5,606	236	253	228	228	千葉 5%
	23年	6,141	227	246	232	211	群馬 4%
	24年	6,239	254	287	259	232	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,329	233	255	237	216	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,800	220	250	230	210	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本中心に茨城、千葉から入荷する。熊本は先月に引き続き潤沢な入荷。茨城は一部交配不良がみられたが、概ね順調。千葉は大幅に遅れた前年から回復し大きく増加する。平年並みの出荷となる。入荷量は前年からかなり増加し、価格は前年をやや下回る見込み。						

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	20年	2,685	43	
		21年	3,444	27	
		22年	2,079	44	
		23年	2,084	38	
		24年	1,838	46	
	5ヶ年平均	2,426	38		
25年見通し	2,000	40			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。5月上旬はやや少なめに推移するが、中旬からは精の一世の出荷も始まり、量的に増えてくる。色物も多くないが、消費もあまりなく、弱含みの展開が予想される。				
小 ぎ	実 績	20年	1,413	23	
		21年	1,195	24	
		22年	819	33	
		23年	998	35	
		24年	1,147	28	
	5ヶ年平均	1,114	28		
25年見通し	1,100	30			
概要	愛知、沖縄から入荷。地場の出荷も始まったが、出荷が増えるのは後半以降で、気温の上昇とともに品質に心配があるが沖縄産中心の動き。後半になっても地場産は量的にはあまり多くないため、品薄感から堅調な展開が予想される。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	20年	1,970	42	
		21年	1,819	42	
		22年	1,749	34	
		23年	1,768	37	
		24年	2,102	32	
	5ヶ年平均	1,882	38		
25年見通し	2,000	35			
概要	愛知、長野、和歌山等から入荷。今年は年内からある程度出荷があり、2、3月は例年よりも20%位多かった。母の日はスタンダードが若干少なく、スプレーは平年並みに出荷される。				
か す み 草	実 績	20年	336	56	
		21年	271	62	
		22年	214	70	
		23年	256	53	
		24年	259	61	
	5ヶ年平均	267	60		
25年見通し	270	60			
概要	高知、和歌山、熊本中心に入荷。入荷量が多い中旬は母の日の仕入れなどから下位から上位まで引き合いが強いが、気温上昇での品質低下が気になり。下旬から高冷地も入荷する。相場は昨年並みか。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	20年	483	135	
		21年	383	156	
		22年	359	159	
		23年	416	144	
		24年	400	144	
	5ヶ年平均		408	147	
	25年見通し		400	145	
概要	<p>オリエンタルは高知、愛知、埼玉、岐阜などから入荷。高冷地も日を追うごとに増えてくる。母の日需要でP系とカサブランカが活発な動きとなるが、5月出荷はかなり多そうなので、相場の変動は激しいと思われる。LA、鉄砲百合は昨年に比べ少なく、業務中心の販売で価格は安定しそう。</p>				
洋らん	実績	20年	414	76	
		21年	302	88	
		22年	396	67	
		23年	386	80	
		24年	349	90	
	5ヶ年平均		369	80	
	25年見通し		350	90	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島と輸入物が入荷。3、4月と価格の低迷が続いたが、入荷も落ち着き、相場も緩やかに回復するだろう。</p>				
ばら	実績	20年	1,129	67	
		21年	1,150	67	
		22年	1,000	69	
		23年	1,012	70	
		24年	1,028	70	
	5ヶ年平均		1,064	69	
	25年見通し		1,050	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。4月後半に多く出荷があったため、母の日ぐらいまでの前半は入荷は順調だが、後半は少し入荷量に心配なところもある。週末の日柄がいいため、堅調な動きが見込まれる。</p>				
枝も	実績	20年	1,321	43	
		21年	1,269	43	
		22年	1,589	39	
		23年	1,587	40	
		24年	1,611	41	
	5ヶ年平均		1,475	41	
	25年見通し		1,600	40	
概要	<p>愛知、岐阜、静岡から入荷が中心。山取りの花物が多く出荷始まる。連休になり、消費は鈍化しそうだが、母の日需要に期待したい。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	20年	47,060	647	
		21年	44,063	533	
		22年	44,317	500	
		23年	34,160	539	
		24年	49,818	554	
	5ヶ年平均		43,884	438	
	25年見通し		45,000	500	
概要	<p>入荷量は生産減のため、特に5号鉢含め減少か。母の日前の5月上旬に出荷のピークとなる。昨年同様、明るいピンク系は発色の良いもの、黄色系では輪数の多いものが引き合いが強いと予想。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(36.2%)、2位愛知(23.7%)、3位長野(22.9%)となっている。</p>				
ファレス	実績	20年	64,381	2,266	
		21年	52,823	2,145	
		22年	50,638	2,252	
		23年	55,214	1,932	
		24年	61,331	2,228	
	5ヶ年平均		56,877	2,168	
	25年見通し		60,000	2,000	
概要	<p>入荷量はミディー系は昨年並みもしくは微増か。大輪系は減少の見込み。5月は母の日もあるので、上旬は数量が集まるが中旬以降は減少か。ミディー系は母の日に合わせての出荷調整を願いたい。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(58.3%)、2位熊本(8.6%)、3位静岡(7.2%)となっている。</p>				
バラ	実績	20年	119,144	378	
		21年	83,350	397	
		22年	95,354	362	
		23年	89,686	355	
		24年	101,151	374	
	5ヶ年平均		97,737	373	
	25年見通し		90,000	370	
概要	<p>昨年同様、価格の高い商品の売れ行きは厳しそう。4寸(特に中大リン系品種)~3.5寸に人気集中する予想。入荷量は昨年より減少か。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(55.6%)、2位愛知(34.7%)、3位その他(2.9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ジ ン	実 績	20年	144,634	765	
		21年	190,684	700	
		22年	216,332	669	
		23年	222,346	675	
		24年	239,420	690	
	5ヶ年平均		202,683	695	
	25年見通し		230,000	690	
概要	<p>入荷量は昨年よりも、高単価の6寸が年々厳しいため、5寸増、6寸減か。品種別にみると、復色系のパパリア、チボリ、ガク系のフェアリーアイ・小町・アメノウタエバなどが人気集中する見込み。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(72.5%)、2位群馬(8.8%)、3位埼玉(4.5%)となっている。</p>				
ス パ テ イ フ イ ラ ム	実 績	20年	49,838	280	
		21年	38,033	243	
		22年	50,241	258	
		23年	40,934	272	
		24年	35,908	298	
	5ヶ年平均		42,991	270	
	25年見通し		35,000	280	
概要	<p>入荷量は昨年並か。素材としての3～4号需要から若干引き合いがあがると思うが、7号以上の単鉢は作付量の割りに動きが鈍いと思われる。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(44.7%)、2位三重(38.2%)、3位岐阜(13.2%)となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ヨ ン	実 績	20年	433,670	472	
		21年	366,430	466	
		22年	370,288	450	
		23年	365,580	434	
		24年	402,651	429	
	5ヶ年平均		387,724	451	
	25年見通し		400,000	420	
概要	<p>今年の母の日も昨年と同様の日程なので、入荷量は昨年並みか。物日需要が短期集中型になっているため、相場も昨年並で安定すると予想。赤とピンクの引き合いが強いと思われる。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.4%)、2位茨城(12.5%)、3位福島(6.8%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2013年)

1 輸入実績

品名	2月						2月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	66,441	71.7	8,119,322	97.4	122	135.8	128,597	76	15,894,171	107	124	139.8
トマト	452	142.3	175,240	160.6	387	112.9	947	170	379,135	199	400	117.1
たまねぎ	18,006	60.7	1,345,630	139.7	75	230.0	38,120	65	2,719,599	147	71	227.2
にんにく	1,231	88.1	251,149	182.3	204	206.9	2,788	90	562,062	178	202	197.9
ねぎ	4,303	105.5	473,985	111.8	110	106.0	8,904	105	961,333	111	108	105.7
ブロッコリー	2,774	50.2	501,087	63.1	181	125.8	6,097	68	1,083,687	81	178	119.3
結球キャベツ	3,293	46.9	139,406	63.1	42	134.5	7,070	66	286,862	88	41	134.1
にんじん・かぶ	5,767	104.3	345,634	166.1	60	159.2	10,125	93	537,228	144	53	145.3
ごぼう	2,810	80.2	140,862	81.5	50	101.7	6,938	92	329,451	90	47	98.1
えんどう	261	97.5	91,536	99.5	350	102.1	516	92	183,747	99	356	107.8
アスパラガス	1,878	58.6	1,018,324	82.5	542	140.6	2,573	55	1,561,199	78	607	139.9
まつたけ	-	-	-	-	-	-	2	-	4,797	-	2,866	-
しいたけ	572	183.8	190,186	73.1	333	39.8	1,282	145	415,267	53	324	36.8
かぼちゃ	14,991	63.6	1,061,676	79.5	71	125.0	25,298	64	1,929,624	83	76	129.5
果実(生鮮・乾燥)	128,064	87.4	16,695,749	113.0	130	129.4	252,040	92	32,261,187	117	128	127.5
バナナ	71,947	88.8	5,204,458	112.0	72	126.2	143,123	90	10,089,291	114	70	126.5
パイナップル	11,187	103.1	582,862	96.1	52	93.3	23,348	111	1,261,105	108	54	96.7
レモン	4,080	90.7	516,498	101.4	127	111.9	7,273	82	897,686	87	123	107.1
オレンジ	9,513	80.0	1,058,813	102.5	111	128.1	15,933	85	1,767,981	106	111	124.0
グレープフルーツ	8,830	44.8	1,034,476	57.4	117	128.1	21,052	65	2,389,127	80	113	123.3
メロン	3,214	324.4	336,032	251.4	105	77.5	5,087	242	536,019	208	105	86.0
ぶどう	1,424	100.4	334,287	58.5	235	58.3	1,847	102	443,490	113	240	110.5
キウイ	253	54.9	60,678	76.5	240	139.3	496	94	118,141	131	238	139.5
いちご	14	74.9	12,960	90.9	898	121.4	18	55	17,601	70	952	125.1
切花(生鮮・乾燥)	3,168	101.0	2,569,440	109.0	811	108.0	6,435	105	5,176,234	111	804	105.8
鳥獣肉類	131,641	85.0	59,879,582	92.7	455	109.0	270,180	89	121,630,216	95	450	106.1
牛肉(くず肉含む)	30,792	76.8	15,445,409	96.7	502	126.0	65,261	84	31,281,841	103	479	122.0
豚肉(くず肉含む)	57,990	91.5	30,496,345	91.7	526	100.3	120,020	91	63,127,364	91	526	100.3
鶏肉	37,333	82.0	9,779,051	81.9	262	99.9	73,060	91	18,687,106	88	256	97.3
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	120,449	96.9	66,669,244	94.5	554	97.6	272,902	94	144,075,502	92	528	97.3
まぐろ類	18,251	92.3	14,654,017	77.0	803	83.4	33,640	94	26,102,833	82	776	86.7
さば・さんま・あじ・いわし	7,617	86.5	1,388,998	96.7	182	111.8	20,857	83	3,556,016	82	170	98.5

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,137	338.9	414,210	229.7	364	67.9	6,315	547	2,318,317	381	367	69.7
うんしゅうみかん	22	75.9	9,256	73.4	427	96.8	115	131	56,637	110	492	83.8
りんご	1,059	384.2	318,478	275.2	301	71.6	5,970	616	2,022,619	493	339	79.9
なし	-	-	-	-	-	-	17	300	8,766	342	506	118.7
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	191,799	84.7	-	-	-	-	420,269	125	-	-
緑茶	200	126.8	437,598	136.0	2,184	107.2	345	115	815,360	131	2,362	113.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成22年 = 100）</small> <small>（愛知県 平成22年 = 100）</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	23年平均	99.7	96.8	100.6	99.9	100.4
	24年10月	99.6	90.5	91.3	98.3	101.1
	11月	99.2	88.0	90.8	98.3	100.2
	12月	99.3	92.8	98.5	98.2	100.7
	25年 1月	99.3	105.4	112.6	98.3	101.0
	2月	99.2	95.8	106.1	99.9	100.4
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年10月	99.4	92.9	91.2	95.6	101.0
	11月	99.0	91.1	92.0	95.5	100.5
	12月	99.1	94.8	100.5	95.1	101.3
	25年 1月	99.0	106.2	118.5	98.5	100.0
	2月	98.8	96.5	107.8	98.6	98.4

項目 年月		農業物価指数（平成22年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	23年平均	97.6	93.3	95.3	99.9	101.9
	24年10月	92.3	112.2	82.6	60.2	101.3
	11月	97.6	112.8	87.8	86.8	101.3
	12月	110.6	114.0	123.5	106.7	104.5
	25年 1月	110.5	114.2	124.9	108.3	101.2
	2月	104.1	114.3	101.5	109.4	102.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）													
品目 単位 年月	うるち米 <small>（単一品種、「コシ加」以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5 kg	1 kg										100g	1kg
23年平均	1,872	148	188	665	432	342	148	352	242	542	603	172	490
24年10月	2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
11月	2,209	88	122	585	364	284	128	298	208	584	759	174	437
12月	2,191	104	128	553	566	247	130	302	198	644	706	158	442
25年 1月	2,191	149	155	684	802	273	156	314	208	765	693	211	476
2月	2,151	147	169	559	729	296	159	327	211	564	595	173	449
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
23年平均	552	286	376	146	223	771	540	151	164	299	222	818	416
24年10月	513	286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375
11月	529	288	334		211	818	528	149	167	296	211	776	398
12月	492	305	344	207	206	831	529	145	172	316	224	730	400
25年 1月	630	329	370	187	209	755	531	154	175	314	217	824	378
2月	564	325	347	158	209	800	520	147	173	308	218	864	383

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 479
平成25年5月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421